

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成 29 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-1	美濃市立美濃病院経営安定化プラン継続策定	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	西村・鶴飼泰
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営の維持	
	施策名(評価単位)	(40)	美濃病院の安定経営の維持	

2. 事務事業の目的	美濃病院に課せられた役割を明確にし、地域医療を確保するとともに、改革プランにより安定的な経営の下で良質な医療を継続して提供できる体制の保持します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成29年度)	<ul style="list-style-type: none"> ◆経営安定化プランの検証を行いました。 ◆収益に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・高周波手術装置、内視鏡手術用カメラヘッド、吸入式全身麻酔器を購入し高度な医療及び安全性の向上に努めました。 ・常勤医師は11人体制で、病床利用率を維持しました。 ・在宅療養等の退院後の支援のため、関連施設との医療情報の共有化を促進しました。 ◆経費に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房運転の適性化により、燃料使用量が削減できました。 ・後発医薬品への切り替えを促進しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト					(単位:円)
区分		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込
① 直接事業費		500,000	500,000	500,000	500,000
② 人件費		8,800,000	8,800,000	7,600,000	8,625,000
③ 合計コスト ①+②		9,300,000	9,300,000	8,100,000	9,125,000
前年度比			100.0%	87.1%	112.7%
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	9,300,000	9,300,000	8,100,000	9,125,000
④ 活動一単位当たりコスト		48.7	103.5	595.0	154.8
前年度比			212.6%	574.9%	26.0%
⑤ コストに関する増減理由		平成29年度は、健診棟の減価償却費等の経費の大幅な増加により、純利益が前年度を下回ったため、活動一単位当たりコストが増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	純損益				単位:	千円
	指標説明	収益的収支における純損益(収入-支出+特別損益)状況					
	実績値	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込		
		191,033	89,849	13,613	58,931		

4. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・病院改革プランによる取組みにより、決算については単年度黒字の計上が継続でき、収支は黒字決算となりました。 ・健診棟、外来棟の増築に係る減価償却費及び眼科等の老朽化による医療機器の更新に大幅な経費の増額が必要になるため、今後、予算配分に一層留意していく必要があります。 	

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成30年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・増築した健診棟を計画的にフル活用し、健診率の底上げを図ると共に、医療サービスとレベルの向上を図り、収益確保につなげていきます。 ・4Fの「地域包括ケア病棟」の特色を活かし、急性期から回復期までの入院患者の受入等、幅広い病床機能の運用を図る事で、稼働率維持につなげていきます。 		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	小森 誠
<ul style="list-style-type: none"> ・美濃病院経営安定化プランの方針及び目標値の達成を目指し活動したことにより、健全な病院運営に成果があったと評価できます。 ・安定経営を維持しながら、充実した医療サービスを提供していくためには、病院改革プランの策定は必要と考えられます。今後も医療関係の情報収集を積極的に行い、動向を迅速に捉えて適切に対応できるよう現プランの内容を継続した新たなプランの策定を実施することとします。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：平成29年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-2	医療機器の計画的整備	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	市原時正・西村 斉
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営の維持	
	施策名(評価単位)	(40)	美濃病院の安定経営の維持	

2. 事務事業の目的	医療水準向上のための現在未整備である新規医療機器の導入を進めると共に、限られた予算の中で計画的に老朽化した機器を更新することを目的とします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成29年度)	<p>更新した医療機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡手術用カメラヘッド ・超音波画像診断装置 ・吸入式全身麻酔器 ・上部消化管汎用ビデオスコープ ・高周波手術装置 <p>平成15年度(新病院移転時)に購入した100万円以上の医療機器、医療情報機器のうち今年度は金額ベースで1.9%更新しました。なお、全体では55%の更新が終了しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込
① 直接事業費	109,140,746	220,949,020	23,194,720	99,714,000
② 人件費	8,000,000	8,000,000	5,600,000	7,875,000
③ 合計コスト ①+②	117,140,746	228,949,020	28,794,720	107,589,000
前年度比		195.4%	12.6%	373.6%
財源内訳	国・県支出金			
	市債	110,000,000	0	0
	その他特定財源			
	一般財源	7,140,746	228,949,020	28,794,720
④ 活動一単位当たりコスト	58,570,373.0	45,789,804.0	15,155,115.8	17,931,500.0
前年度比		78.2%	33.1%	118.3%
⑤ コストに関する増減理由	高額機器又は新規購入機器が多いと費用が増加します。平成29年度は、老朽化した医療機器の更新を行ったが費用は減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	医療機器更新率の上昇値				単位:	%
	指標説明	新病院移転時の更新対象医療機器を基準に金額ベースでの更新率の上昇値を算出					
		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込		
	実績値	2.0	5.0	1.9	6.0		

4. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 院内内の各部署の意見聴取や医療機器の点検等により、老朽化した機器の更新、新規購入ができました。 ・ 耐用年数を著しく過ぎた機器については故障のリスクが高まり、緊急の購入や修繕の要因となります。半数以上の機器が購入から10年以上経過している中で、計画的更新を進める必要があります。
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	平成30年4月
<p>・ 老朽化、機能性等を視野に入れ、今後、担っていくべき診療機能にふさわしい医療機器の計画的更新を目指します。</p>		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	小森 誠
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度も引き続き質の高い医療の維持と向上目標に掲げ、医療機器の整備・更新を進めていきました。 ・ 医療の水準を維持・向上させるため医療機器の計画的更新を行い、患者満足度向上につながる成果を出すことを目標とします。 		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 29 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-3	健診メニュー及び予防医療の充実	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	鶴飼恭・亀山・杉政・江崎
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営維持	
	施策名(評価単位)	(40)	美濃病院の安定経営維持	

2. 事務事業の目的	受診環境整備及び受入体制の充実により市民の健康維持・増進を推進します。
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成29年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の三団体（県職・教職・警察）の健診を契約を結び実施しました。 ・新規事業所へ『お試し健診』を実施しました。 ・マンモグラフィ検診認定施設を取得しました。 ・大同メタル健康保健組合とのドック施設契約を凍結しました（H30年度より開始）。 ・みの健康管理センターのブランディングを開始しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込
① 直接事業費	620,000	528,000	1,170,720	1,200,000
② 人件費	21,200,000	18,800,000	21,200,000	18,000,000
③ 合計コスト ①+②	21,820,000	19,328,000	22,370,720	19,200,000
前年度比 (%)		88.6%	115.7%	85.8%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	21,820,000	19,328,000	22,370,720
④ 活動一単位当たりコスト	545,500.0	402,666.7	438,641.6	376,470.6
前年度比 (%)		73.8%	108.9%	85.8%
⑤ コストに関する増減理由 (29年度実績、30年度見込)	平成28年度は、増築工事の関係で、事業展開が充分でなく事業費は減額となりましたが、平成29年度は健診環境の整備により、実績が増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	事業所への訪問、電話打合せ回数				単位:	回数
	指標説明	訪問・依頼に応じて話し合いをした回数					
		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込		
	実績値	40	48	51	51		

(4) 成果指標	指標名	新規健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類				単位:	個	評価:	+
	指標説明	新規健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類の増加							
	目標値の設定方針	前年度と同値							
		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込				
	目標値	75	77	77	79				
	実績値	75	73	76					
達成度 (%)	100.0%	94.8%	98.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価		B	
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No				
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes		No			1	
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No				
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No				

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・県の3団体の健診を獲得でき単価の高い健診の人数が増加しましたが、独自の結果仕様があり入力間違い等が発生するリスクが有る為システムの再度構築を行う必要があります。 ・マンモグラフィ検診認定施設取得により市民の方に質の高い検診を提供できるようになりました。 ・美濃市のがん検診受診率が低いため市民への啓蒙活動が必要であると感じました。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成30年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・美濃市民に対してがん検診の実施内容をより知ってもらうための広報活動に努めます。 ・がん検診の受診率を高めるため市とタイアップした、休日健診『美濃市総合健診デー』の実施を行います（年間2回開催）。 ・受診者の満足度を高めるため、新たな健診メニューを作成し、プロ意識を持って健診を行えるように各職員目標を立てます。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	小森 誠
<ul style="list-style-type: none"> ・健診事業については、受診者数も増加しており、実施事業所及び受診者からの評価も良好でした。今後も継続した評価を得るために、みの健康管理センターによる受診環境整備、メニューの増加や二次検査未受診者への対応を実施します。 ・予防接種は、接種前問診、手順等に留意し適切に実施できました。 			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	